4	１５番　　西　岡　　克　之　　議員 ①　安心で安全な子育て環境の整備について 　少子化はコロナ禍において想定を大きく上回るスピードで進み、児童虐待やいじめ、不登校、自殺も増え、子供をめぐる状況は深刻です。また、子供を持つこと自体をリスクと考える若者も増えています。 　こうした現状を重く受け止め、公明党は、誰もが子供を安心して生み育てられ、十分な教育が受けられる社会づくりを、国家戦略と位置付けて進めなければならないとの認識に立ち、昨年１１月に「子育て応援トータルプラン」を発表しました。 　今年４月からは「こども基本法」が施行され、こども家庭庁も設置されます。いよいよ私たちの地域でも、子供や若者、男女共同参画の視点から、子供も親も希望を持って幸せを実感できる社会への構造改革を本気で進める時だと思います。 （１）そこで０歳児の見守り訪問事業についてお尋ねします。 　本町では具体的に、どのように進めて行かれるのか伺います。 （２）家事支援員（産後ドゥーラ）の確保についてどのような体制で臨むのか伺います。 ②　長与町の諸問題について 　今回、長与町の様々な地域、年齢の方々と対話を重ねる機会がありました。忌憚のない意見を賜ることができました、これは住民の方々の正直なご意見ご要望と感じます。町政運営上参考になると感じます。その一部を披露してご回答を伺いたいと思います。 （１）長与町に循環バスを出してほしい。（長与町は、町が四方八方に広がっている。役場、買い物に行くのにバスの便が悪い。免許を返納したくても公共交通のつながりがない。特に役場、病院に行くのに交通が不便だ。） （２）マイナンバーカードの普及を兼ねて、６５歳以上の方には公共交通機関へメリットを考えてほしい。 （３）役場の女性用トイレで子供のオムツ交換をしようとしたら、ベビーベッドがないのは不便だ。 （４）役場のトイレにバリアフリートイレがないので、赤ちゃんを置いて用を足すことができない。和式トイレがいまだにある。